

伊勢湾貧酸素情報（第 1 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

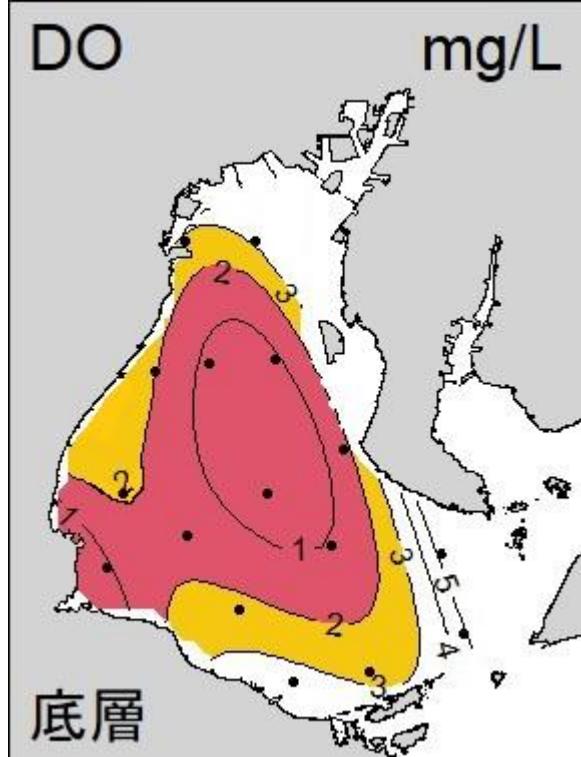
伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、
湾中央部を中心に 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が確認されました。
松阪沖でも 2 mg/L 以下が確認されています。

6 月 18 日の調査結果

6 月 18 日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で 23.3~27.0°C、10m で 18.4~20.3°C、底層で 15.2~19.7°C の範囲にあり、平年と比べて表層はかなり高め、10m 及び底層はやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.7~14.1 mg/L、10m で 3.6~6.2 mg/L、底層で 0.3~5.1 mg/L の範囲にあり、平年と比べて表層は三重県沿岸部を中心にかなり低めで、湾中央部ではかなり高め、10m は低め、底層はやや低めとなっていました。

今後、海水温の上昇に伴って有機物の分解が進むと、貧酸素水塊の範囲がさらに広がる可能性があります。今後の操業にあたっては、貧酸素水塊の動向に十分に注意してください。



底層貧酸素水塊分布図